



平成24年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月6日

上場取引所 東

上場会社名 アース製薬
コード番号 4985 URL <http://www.earth-chem.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大塚 達也

問合せ先責任者 (役職名) 役員待遇 経営企画部部長 (氏名) 下川 善通

TEL 03-5207-7456

四半期報告書提出予定日 平成24年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第2四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第2四半期	72,823	6.2	10,119	△9.0	10,431	△8.2	5,687	△12.9
23年12月期第2四半期	68,554	10.7	11,123	23.7	11,365	22.6	6,531	24.0

(注) 包括利益 24年12月期第2四半期 5,867百万円 (△11.9%) 23年12月期第2四半期 6,663百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第2四半期	281.60	—
23年12月期第2四半期	323.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第2四半期	107,676	49,541	41.8
23年12月期	72,290	45,757	57.0

(参考) 自己資本 24年12月期第2四半期 45,011百万円 23年12月期 41,190百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	0.00	—	95.00	95.00
24年12月期	—	0.00	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	95.00	95.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年 1月 1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	126,405	13.9	6,302	3.1	6,778	2.1	3,004	△9.6	148.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 1社 （社名） 株式会社バスクリン 、 除外 — 社 （社名）
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 ： 無
 - ④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年12月期2Q	20,200,000 株	23年12月期	20,200,000 株
② 期末自己株式数	24年12月期2Q	3,548 株	23年12月期	3,498 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年12月期2Q	20,196,487 株	23年12月期2Q	20,196,618 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

当社は、以下のとおり機関投資家・アナリスト向けに説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料等については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。

・ 平成24年8月8日（水）・・・・ 機関投資家・アナリスト向け決算説明会

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) セグメント情報等	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13
(7) 重要な後発事象	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、復興需要等を背景に緩やかに回復し、個人消費も持ち直しつつあるものの、電力供給の制約や原油高・デフレの影響など、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは“お客様の満足感・信頼感”の向上を目指し、引き続き「安全、安心、快適な生活空間の創造に貢献」をテーマに、創造的・革新的な製品開発及び独創的な衛生管理サービスの提供を行ってまいりました。また、積極的な営業展開を推進するとともに、経営資源の有効活用やコストの低減に取り組み、売上・利益の拡大に努めました。なお、当第2四半期連結会計期間より、完全子会社化した(株)バスクリンの業績を連結に組み込みました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は728億23百万円(前年同期比6.2%増)となりましたが、主力の殺虫剤部門が前年を若干下回ったことや、(株)バスクリンの買収により発生したのれんの償却費(4億23百万円)の計上などにより、営業利益は101億19百万円(前年同期比9.0%減)、経常利益は104億31百万円(前年同期比8.2%減)、四半期純利益は56億87百万円(前年同期比12.9%減)となりました。

なお、当社グループは殺虫剤の売上構成比が高く、売上高が3月～8月に偏るという季節性がある一方、人件費等の固定費は年間を通じてほぼ均等に発生するため、四半期毎の売上高や利益には相応の影響があります。

セグメントの業績の概要は次のとおりであります。

〔家庭用品事業〕

家庭用品事業におきましては、個人消費は底堅い推移を見せるものの、緩やかなデフレ傾向にあり、事業環境は依然として厳しい状況にあります。

このような状況のなか、成長が期待できるカテゴリーへの新製品投入や、製品価値を高めるリニューアルの実施、売場展開の強化などにより市場の活性化を図り、売上の拡大に努めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当事業の売上高は661億93百万円(前年同期比5.4%増)、セグメント利益(営業利益)は92億10百万円(前年同期比12.2%減)となりました。

(家庭用品事業の業績)

(単位:百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	増減率
殺虫剤部門	37,962	37,422	△540	△1.4%
日用品部門	21,540	25,241	3,701	17.2%
口腔衛生用品	12,883	13,280	397	3.1%
入浴剤	2,566	5,001	2,434	94.9%
その他日用品	6,090	6,959	869	14.3%
ペット用品・その他部門	3,274	3,529	255	7.8%
売上高合計	62,776	66,193	3,416	5.4%
セグメント利益(営業利益)	10,493	9,210	△1,283	△12.2%

(注) 1 売上高にはセグメント間の内部売上高又は振替高が含まれております。その金額は、前第2四半期連結累計期間では2,716百万円、当第2四半期連結累計期間では2,167百万円です。

2 第1四半期連結会計期間より販売区分の表示方法について、これまで「殺虫剤部門」の内訳として表記していた「家庭用医薬品殺虫剤」と「家庭用一般殺虫剤」を廃止して一本化するとともに、「日用品部門」の「入浴剤その他」を「入浴剤」と「その他日用品」に分けて表記することに変更いたしました。また、従来の「ペット用品部門」と「その他製商品部門」を「ペット用品・その他部門」に統合いたしました。

部門別の主な状況は次のとおりであります。

殺虫剤部門

殺虫剤部門においては、6月まで東日本を中心に低温状態で推移した影響などで、市場全体は前年に比べて10%近く下回る厳しい状況でありました。

このような状況のなか、新たな使用シーンを提案した「バポナ 玄関用 虫よけネットW」や業界最長の使用日数を実現した「バポナ虫よけネットW210日用」、「あみ戸に虫こない あみ戸に貼るだけ210日用」など、設置型虫よけの製品ラインナップを拡充したことに加え、蚊とり線香の新製品「アース渦巻香 バラの香り」が売上に寄与したものの、市場自体が低迷した影響を受け、当部門の売上高合計は374億22百万円(前年同期比1.4%減)となりました。

日用品部門

口腔衛生用品分野においては、入れ歯洗浄剤「ポリデント」が前年を下回ったものの、洗口液「モンダミン」や知覚過敏予防ハミガキ「シュミテクト」の堅調な推移により、売上高は132億80百万円(前年同期比3.1%増)と増加しました。

入浴剤分野においては、「バスロマン」、「保湿入浴液ウルモア」が順調に売上を伸ばしたことや、新製品の「バスロマン スキンケアシャワー」が寄与したことに加え、(株)バスクリンの売上を4月から取り込んだことで、売上高は50億1百万円(前年同期比94.9%増)と増加しました。

その他日用品分野においては、消臭芳香剤「消臭アロマパレット」やトイレ用芳香洗浄剤「濃縮セボンneo」が順調に売上を伸ばし、また(株)バスクリンの売上が加わったことで、売上高は69億59百万円(前年同期比14.3%増)と増加しました。

以上の結果、当部門の売上高合計は252億41百万円(前年同期比17.2%増)となりました。

ペット用品・その他部門

ペット用品・その他部門については、ペット用殺虫剤及びペット用アクセサリ用品が前年並みとなりましたが、美容食品「プラセンタC」シリーズの製品ラインナップを拡充したことで、当部門の売上高合計は35億29百万円(前年同期比7.8%増)となりました。

[総合環境衛生事業]

総合環境衛生事業におきましては、長引く景気の低迷や円高の影響を受け、主要顧客層である食品業界では市場の成長が鈍化すると見込まれる一方、製品に対する「安心・安全」への意識は食品・医薬品業界を中心に年々高まっており、衛生管理の観点から当事業への潜在的なニーズが期待できる状況にあります。

このような状況のなか、年間契約の増加による安定した収益拡大を目指すため、技術開発力と営業体制の更なる強化に取り組み、新規契約の獲得と契約金額の増大に努めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当事業の売上高は88億65百万円(前年同期比3.6%増)、セグメント利益(営業利益)は8億17百万円(前年同期比11.5%増)となりました。

(総合環境衛生事業の業績)

(単位:百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売 上 高	8,557	8,865	307	3.6%
セグメント利益(営業利益)	733	817	84	11.5%

(注) 売上高にはセグメント間の内部売上高又は振替高が含まれております。その金額は、前第2四半期連結累計期間では63百万円、当第2四半期連結累計期間では66百万円です。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間における総資産は、前連結会計年度末に比べて353億85百万円増加し1,076億76百万円となりました。これは、有価証券が減少したものの、売上債権が増加したことに加え、㈱バスクリンの買収に伴い「のれん」を計上したことなどによるものです。

当第2四半期連結会計期間における負債は、前連結会計年度末に比べて316億1百万円増加し581億34百万円となりました。これは、仕入債務が増加したことや、㈱バスクリンの株式等を取得するための資金調達に伴う借入金の増加などによるものです。

当第2四半期連結会計期間における純資産は、前連結会計年度末に比べて37億84百万円増加し495億41百万円となりました。これは、主に利益剰余金の増加によります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて15.2ポイント低下し、41.8%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)の残高は、前連結会計年度末と比較して122億40百万円減少し、92億26百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因については、次のとおりであります。

営業活動の結果、減少した資金は41億96百万円となりました。これは、税金等調整前四半期純利益を101億42百万円計上したことに加え、仕入債務が87億22百万円増加したものの、売上債権が248億33百万円増加したことなどによります。

投資活動の結果、減少した資金は154億42百万円となりました。これは主に、㈱バスクリンの株式等の取得による支出によるものです。

財務活動の結果、増加した資金は73億86百万円となりました。これは、配当金の支払額が19億18百万円あったものの、㈱バスクリンの株式等を取得するための資金調達に伴い、短期借入金の純増加42億円及び長期借入による収入60億円があったことなどによります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月8日に公表した通期の業績予想に変更はありません。

なお、本業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、様々な要因の変化により実際の業績とは大きく異なる場合があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結累計期間において、株式会社バスクリンの株式等をすべて取得し、同社を当社の完全子会社としました。

この結果、平成24年6月30日現在では、当社グループは当社及び子会社8社(うち連結子会社7社)により構成されることとなりました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,400	9,259
受取手形及び売掛金	11,313	37,938
有価証券	14,371	882
商品及び製品	11,080	13,963
仕掛品	670	841
原材料及び貯蔵品	3,897	3,666
繰延税金資産	1,193	1,966
その他	1,705	966
貸倒引当金	△32	△49
流動資産合計	52,600	69,434
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	16,960	18,481
減価償却累計額及び減損損失累計額	△9,316	△9,626
建物及び構築物 (純額)	7,644	8,855
機械装置及び運搬具	6,442	8,789
減価償却累計額	△5,614	△7,102
機械装置及び運搬具 (純額)	827	1,687
土地	5,088	5,627
リース資産	7	21
減価償却累計額	△3	△12
リース資産 (純額)	3	9
建設仮勘定	240	138
その他	4,839	5,849
減価償却累計額	△4,300	△5,147
その他 (純額)	539	702
有形固定資産合計	14,343	17,020
無形固定資産		
のれん	55	16,550
リース資産	11	9
その他	406	424
無形固定資産合計	473	16,983
投資その他の資産		
投資有価証券	3,300	2,683
繰延税金資産	848	749
その他	766	852
貸倒引当金	△42	△48
投資その他の資産合計	4,872	4,237
固定資産合計	19,689	38,241
資産合計	72,290	107,676

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,039	26,890
短期借入金	440	4,640
1年内返済予定の長期借入金	133	1,813
1年内償還予定の社債	40	20
未払法人税等	1,352	4,885
未払消費税等	89	583
未払金	4,164	5,324
賞与引当金	391	258
役員賞与引当金	23	14
返品調整引当金	278	1,914
その他	1,779	2,532
流動負債合計	23,733	48,878
固定負債		
長期借入金	130	6,131
繰延税金負債	—	11
退職給付引当金	1,641	1,947
役員退職慰労引当金	271	292
資産除去債務	162	198
その他	593	675
固定負債合計	2,799	9,256
負債合計	26,533	58,134
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,377	3,377
資本剰余金	3,168	3,168
利益剰余金	34,922	38,691
自己株式	△9	△9
株主資本合計	41,458	45,227
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	188	193
為替換算調整勘定	△456	△409
その他の包括利益累計額合計	△268	△216
少数株主持分	4,566	4,529
純資産合計	45,757	49,541
負債純資産合計	72,290	107,676

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	68,554	72,823
売上原価	39,672	42,965
売上総利益	28,881	29,857
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	1,497	1,783
広告宣伝費	4,441	4,447
販売促進費	1,678	2,275
貸倒引当金繰入額	30	23
給料及び手当	4,315	4,616
賞与引当金繰入額	166	192
役員賞与引当金繰入額	8	14
役員退職慰労引当金繰入額	18	20
旅費及び交通費	597	697
減価償却費	272	249
地代家賃	298	349
研究開発費	744	857
その他	3,688	4,209
販売費及び一般管理費合計	17,757	19,738
営業利益	11,123	10,119
営業外収益		
受取利息	19	19
受取配当金	21	20
受取ロイヤリティー	16	64
受取手数料	24	91
受取家賃	76	64
その他	136	104
営業外収益合計	294	365
営業外費用		
支払利息	5	37
投資事業組合運用損	8	1
為替差損	9	5
たな卸資産廃棄損	24	0
その他	5	7
営業外費用合計	53	53
経常利益	11,365	10,431

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
特別利益		
固定資産売却益	0	4
投資有価証券売却益	412	239
関係会社株式売却益	0	—
受取保険金	—	66
特別利益合計	413	310
特別損失		
固定資産売却損	0	3
固定資産除却損	14	29
投資有価証券売却損	2	4
投資有価証券評価損	165	159
有価証券評価損	—	401
ゴルフ会員権評価損	—	0
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	106	—
特別損失合計	288	599
税金等調整前四半期純利益	11,489	10,142
法人税、住民税及び事業税	5,357	4,839
法人税等調整額	△644	△508
法人税等合計	4,712	4,330
少数株主損益調整前四半期純利益	6,776	5,811
少数株主利益	244	123
四半期純利益	6,531	5,687

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,776	5,811
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△114	9
為替換算調整勘定	0	47
その他の包括利益合計	△113	56
四半期包括利益	6,663	5,867
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,419	5,739
少数株主に係る四半期包括利益	243	127

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	11,489	10,142
減価償却費	731	815
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△36	△310
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	1,667	1,567
投資有価証券売却損益 (△は益)	△409	△234
売上債権の増減額 (△は増加)	△21,260	△24,833
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,697	△1,594
仕入債務の増減額 (△は減少)	11,121	8,722
その他	3,059	3,053
小計	4,665	△2,672
利息及び配当金の受取額	46	44
利息の支払額	△5	△37
法人税等の支払額	△1,375	△1,530
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,331	△4,196
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△1	△117
有価証券の売却による収入	—	315
有形固定資産の取得による支出	△717	△678
有形固定資産の売却による収入	2	43
投資有価証券の取得による支出	△232	△52
投資有価証券の売却による収入	1,421	542
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△15,630
その他の支出	△298	△103
その他の収入	8	239
投資活動によるキャッシュ・フロー	182	△15,442
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	120	4,200
長期借入れによる収入	124	6,000
長期借入金の返済による支出	△125	△706
社債の償還による支出	△20	△20
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1,817	△1,918
少数株主への配当金の支払額	△192	△164
その他	△3	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,914	7,386
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8	12
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,590	△12,240
現金及び現金同等物の期首残高	14,326	21,466
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,917	9,226

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成 23年 1月 1日 至 平成23年 6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	家庭用品事業	総合環境 衛生事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	60,060	8,494	68,554	—	68,554
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,716	63	2,779	△2,779	—
計	62,776	8,557	71,334	△2,779	68,554
セグメント利益	10,493	733	11,226	△102	11,123

(注) 1 セグメント利益の調整額△102百万円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年 1月 1日 至 平成24年 6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	家庭用品事業	総合環境 衛生事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	64,025	8,798	72,823	—	72,823
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,167	66	2,234	△2,234	—
計	66,193	8,865	75,058	△2,234	72,823
セグメント利益	9,210	817	10,027	91	10,119

(注) 1 セグメント利益の調整額91百万円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

前連結会計年度の末日に比して、当第2四半期連結会計期間の報告セグメントごとの資産の金額が著しく変動しております。その概要は、以下のとおりです。

第1四半期連結会計期間より、完全子会社とした(株)バスクリンを連結の範囲に含めたことに伴い、同社の資産を「家庭用品事業」セグメントに計上いたしました。

なお、前連結会計年度末に比べて増加した「家庭用品事業」セグメントの資産の金額は37,423百万円であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。